

## 甘利大臣による記者会見の概要

日時：4月18日（金）11：00～11：05（現地時間）

場所：米国ワシントン、ダレス空港

大臣：この2日間、相当突っ込んだ話し合いをした。一定の前進はあったが、まだ距離は相当ある。今後整理すべき項目について、双方、事務方に指示をしたところ。

記者：週明け、首脳会談までのスケジュールについて、決まったことはあるか。

大臣：月曜に、米国側事務方のカトラー、ベッター両氏が来日する。そこで、当方大江、森両大使を中心に協議を続行するということになる。

記者：フロマン自身と首脳会談前に会う可能性はないのか。

大臣：フロマン代表はおそらく大統領に同行して来日するのではないか。

記者：そうすると大臣との協議というものは首脳会談前には予定されていないのか。

大臣：特に予定は現時点ではしていない。

記者：一定の進展があったとのことだが、今日の2時間の協議で何か進展はあったか。

大臣：主張がぶつかり合ってきた。そこで、打開すべく、道を探るべく渡航した。それを含めて、一定の前進をしたと理解している。ただ勿論、まだ相当の距離はある。

記者：今回の協議で目指していたような十分な成果が得られなかった最大の要因は何か。

大臣：それぞれ国内事情を抱えている。日米の国内事情がぶりかり合っている。

記者：24日までに5品目の扱いが定まる可能性はあるか。

大臣：まだ相当距離はある。そこで、今後整理すべき項目について双方指示をした。その協議の具合を見守りたい。

記者：まだ相当距離がある中で、首脳会談まで日がないが、どのように協議を進めていくのか。

大臣：まだ月曜、火曜と協議が行われる。距離感が広がっているか、縮まっているかといえば、縮まっているとは言える。

記者：5項目の関税についても焦点になったと思うが、何か一つ合意に近づいたものはあるか。

大臣：合意に至ったものはまだない。

記者：森大使と大江代理も今回のDCでの協議は終了したのか。

大臣：そうだ。

記者：安倍総理への報告はいつ行うのか。

大臣：到着後、できるだけ早くと考えている。

（以上）